

今度こそメダルを
2度目の世界舞台へ

岡村 正広 さん

おまえぎきの きらり輝く人

人

選手

御前崎市出身
FIGHT TV
パラリンピック



PROFILE

おかむら まさひろ (比木出身・46)
市民ランナー。
男子マラソンT12クラスに出場。競
技は日本時間で9月18日21時から。

パラリンピック連続出場

2月7日に開催された別府大分毎日マラソン大会で優勝し、リオデジャネイロパラリンピック出場の切符をつかんだ岡村正広さん。暗い所で物がほとんど見えなくなることや視野の狭さが主な症状である「網膜色素変性症」という難病と向き合いながら日々走り続け、2大会連続の出場を決めた。

岡村さんは2012年のロンドン大会では惜しくも4位という結果に終わり、大会直後は引退しようか迷っていた。時間が経つにつれ、悔しさがあふれてきた。メダルがあるかないかの差は大きく、リオを目指しメダルを取りたいと思うようになった。

練習は時間との戦い

本格的に陸上を始めたのは中学から。「体を動かすのは好きだった。ボールが見えにくく、球技は苦手だったから陸上を始めた。タイムがどんどん良くなるのが楽しかった」と話す。

現在は千葉県立千葉盲学校の教員として働く傍ら、陸

上を続けている。フルタイムで働いている岡村さんにとって、普段の練習は時間との戦いだ。早朝や夜の数十分と休日を利用して練習を重ねる。仕事とマラソンの両立で体調を気にする余裕がないほど忙しい時もある。そのため、日頃からセルフケアは欠かせない。鍼灸師の資格を持つ岡村さん。少しの疲れでも針治療などで自分の体を丁寧ケアしてきたことも、46歳という年齢での活躍につながっているのではない。

陸上への思い

岡村さんにとって陸上とは何か、と尋ねた。「陸上は、自分を形作ってきたもの、自分に自信をつけてくれた。30年以上続けてきた生活の中であくまでならないものとなった」と笑顔で答えてくれた。

また、リオへ向けては「市民をはじめ、たくさんの人から頂いた声援を力に変え、今回こそはメダルをもぎ取りたい」と力強く意気込みも語った。

リオの舞台ではどんな走りを見せてくれるのか。その勇姿から目が離せない。飯塚さんに続け！